

お天気予報が良くなくキャンセルが数名ありました。登山開始からしばらくは霧雨で雨を感じないくらいでしたが、中央分水嶺（尾根）に出ますと小雨になり、与助谷山を過ぎるとぽつぽつと雨の音が気になりだし、桜谷山ではすっかり雨模様、昼食を済ませると、少し寒くなってきました。でも、今日しか見られない自然現象・幻想的な景色などをたっぷり楽しみました。駒ヶ岳西尾根から駒ヶ岳山頂によりました（時間的に可能だったので）。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。（2ページ）

◆自然観察



キタヤマブシ



サワガニ



幻想的なブナ原生林を楽しむ



ナメコ



樹幹流



紅葉が始まりだした



“なめこ “じゃないよ



幻想的な景色があちこちにみられた



与助谷山のベナ原生林

◆歴史 木地山

高島（市）郡に移り住んだ轆轤師は、小椋庄の蛭谷より、領主朽木氏の命を受けて、館内の材木を伐採、盆、椀などの木地を造った。木地山では、ブナ・栃・桂・イズクメ・樺・クロマメの6種の木が伐採されたそうです。

◆トレッキングの様子



澤を渡る



イワナもいたよ



庭園のように綺麗①



②



駒ヶ岳西尾根



駒ヶ岳山頂



幻想的



林業の境界



体験：エゴノキで杖作り



尾根に行く



与助谷山



木地山峠



沢を渡る



巨木



木地山地区に下山

お疲れさまでした。